

平成28年熊本地震から防災を学ぶ。

13 気候変動に
具体的な対策を



プログラムのポイント

①プログラムの狙い

平成28年熊本地震は、4月14日と4月16日の2回震度7の地震がありました。

地震で東海大学農学部阿蘇キャンパスも1号館をはじめ、多くの建物が損壊。近隣のアパートで暮らしていた学生3名の尊い命も失われました。

旧東海大学1号館校舎の建物と地表に現れた断層は、地震をテーマとした熊本地震「震災ミュージアム」のひとつとして保存されました。

②学習内容

地震断層や被災校舎等の「震災遺構」を見学し、ガイドから熊本地震の体験や自然の凄まじさについて話を聞くことができます。



プログラムの流れ

①テーマの設定

地震の被害をリアル体験して地震の恐ろしさを知る。

②事前学習

熊本地震、東日本大震災の規模や被害の状況を調べる。

③事後学習

地震ハザードマップを調べる。自分の命を守る減殺の方法を知る。

④参考資料

気象庁地震データー
産業技術総合研究所活断層データー

トピックス

TOPICS

■旧東海大学阿蘇キャンパス

1号館には事務部署の各部屋をはじめ、教室や図書館、コンビニエンスストアなどがあり、学生たちのキャンパスライフの中心といえる建物でした。地震を引き起こした断層の上に建っているため、耐震補強工事の入っていなかった部分を中心に大きく損壊しましたが、今回の整備でY字型校舎の各翼を切り離すとともに倒壊を防ぐ補強工事を実施。安全確保のため建物内には立ち入れませんが、周辺を通路で囲み、大きくとられたガラス窓から特に被害の大きかった阿蘇事務課の部屋の

状況を見学できるようになっています。また、建物の裏庭に表出した断層も風雨で崩れることのないよう樹脂で固めるとともに屋根が取り付けられ、地震の規模の大きさを目で確かめられます。各所には地震の規模や被害状況を説明するサインボードも設置されています。今回はこの2カ所の公開となりましたが、今後は隣接するグラウンド部分に駐車場と展示室、防災やレクリエーションに活用できる広場なども設けられる計画です。

東海大学ホームページ引用

モデルコース

阿蘇火山博物館⇨旧東海大学阿蘇キャンパス⇨旧長陽西部小学校

実施概要

- 受入期間／通年（毎週火曜日、年末年始休） 9:00～17:00
11月中旬～2月末までは、9:00～16:00
- 受入人数／要相談（事前予約時ご確認下さい）
- 実施場所／旧東海大学阿蘇キャンパス（入館無料）
- ガイド常駐／他に予約がある場合は対応出来ない場合もあります。
- 事前予約／20人以上60人以下希望日の2週間前、60人以上一ヶ月前
- 事前予約先／熊本県知事公室 震災ミュージアム担当
TEL 096-333-2011（受付：平日8:30～17:00）
E-mail:shinsai-museum@pref.kumamoto.lg.jp

【問い合わせ先】

阿蘇市観光協会

TEL 0967-34-1600 / FAX 0967-32-2733